

【授業の到達目標および概要】

授業のテーマ及び到達目標:食生活と環境問題との関係を理解し、ESD（持続可能な開発のための教育）としての食教育の在り方を実践的な授業やプロジェクトとして提案ができることを到達目標とする。DPの「栄養学の幅広い視野に立って精深な学識を有する者」の達成のため、食文化科学領域の知見を深める。

授業の概要:食生活と環境問題との関係やESDの理論をまず学び、研究論文・文献などを読み、実践事例についても調べ、受講者各自の研究テーマに応じた環境教育の在り方を提案・発表し、クラスで議論・検討する。

【授業計画】

- ① 食生活と環境問題との関係に関する理論とESDとしての「食教育」の方向性
- ② 学校教育における食に関する環境教育
- ③ 社会教育における食に関する環境教育
- ④ イギリスやドイツの食に関する環境教育
- ⑤ 国際協力としての食に関する環境教育
- ⑥ 受講者各自の食に関する環境教育の授業あるいはプロジェクトの提案・発表
- ⑦ 環境教育の授業あるいはプロジェクトの提案・発表に関する議論・検討

【授業外学習】

授業時に指示する研究論文・文献・資料を読み、予習・復習を授業時間の倍程度行うことが望ましい。

【成績評価の方法・基準】

授業における発表やコメント(50%)、及び課題レポート(50%)により、総合的に評価する。課題レポートに対しては講評を返却する。

【教科書】

随時プリントを配付する。

【参考書】

日本環境教育学会編『環境教育とESD』東洋館出版社、2014

日本環境教育学会[監修]『知る・わかる・伝えるSDGs I - 貧困・食料・健康・ジェンダー』学文社、2019

その他、授業の際に指示する。

【教材】

授業の際に適宜配付する。

【備考】

特になし